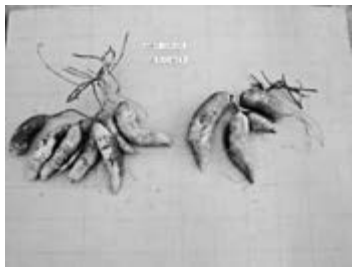


### 3 サツマイモの品種地域適応性試験

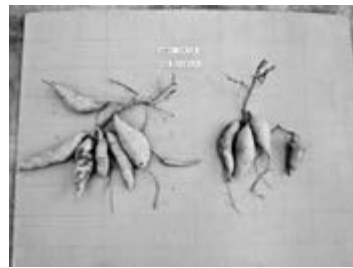
冷涼な本市の気候に適した品種を検討するとともに、省力的な栽培で十分品質・収量が得られるか調査を行いました。マルチ・パオパオを用いた28年度と、マルチ・トンネルを用いた27年度の結果（参考）を併せて報告します。

#### ●耕種概要

試験圃場	農業支援センター露地圃場
試験規模	1区9株、株間30cm、畝幅50cm、畝間120cm、2反復
供試品種	ベニアズマ（標準品種）、からゆたか、あいこまち：以上、農研機構 HE404 ：カネコ種苗
施肥	N：P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> ：K <sub>2</sub> O=0.4：0.6：0.4kg/a 使用肥料S082（10-18-12）
使用資材	透明マルチ、パオパオべた掛け（トンネルなし）
定植日	5月19日（ベニアズマ、からゆたか、あいこまち）、6月10日（HE404）
収穫日	10月14日
キュアリング	恒温庫に1週間保存（10月21日～28日、温度30℃、湿度80%）



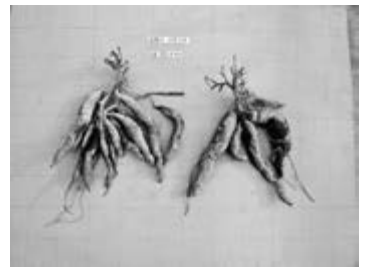
▲ベニアズマ



▲からゆたか



▲あいこまち



▲HE404

#### ●調査結果

供試した3品種は100g未満の小芋や細長の芋が多く、収量及び規格品率は標準品種「ベニアズマ」には及びませんでした。キュアリング後の食味試験では「あいこまち」が甘味に優れていました。また、省力栽培について27年度試験の「ベニアズマ」と比較すると、株あたりの収量は低くなりましたが、700g以上の規格外の割合が下がり、規格品率が高まりました。収量性の高い「ベニアズマ」であれば、省力栽培でも他品種のマルチ・トンネル栽培並みの収量を確保できるため、労力の削減につながるが見込まれます。

No.	品 種 名	規格内収量		平均芋重 g/個	規格外収量 kg/a	規格内率 %	大芋率 %※
		個/株	g/株				
1	ベニアズマ 5/19	4.0	1216.0	327.3	98.6	77.4	16.5
2	からゆたか 5/19	3.3	863.5	202.2	164.4	58.3	11.2
3	あいこまち 5/19	2.4	562.8	186.7	113.3	62.2	7.8
4	HE404 6/10	1.9	438.1	163.4	200.5	37.9	0.0

表1 平成28年度収穫調査結果

No.	品 種 名	規格内収量		平均芋重 g/個	規格外収量 kg/a	規格内率 %	大芋率 %※
		個/株	g/株				
1	ベニアズマ 5月植	4.7	1747.2	371.7	311.5	42.8	48.2
2	鳴門金時5月植	4.3	1516.6	352.7	228.1	47.0	40.5
3	安納芋5月植	2.2	948.2	431.0	383.8	24.8	38.4
4	ベにはるか 6月植	3.1	1005.1	324.2	88.9	60.1	27.8
5	シルクスweet 6月植	2.6	938.8	361.1	156.2	44.5	18.7
6	パープルsweet トロード6月植	4.4	1554.8	353.4	125.6	62.3	11.0

表2 平成27年度収穫調査結果（参考）